

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

## 実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

## 1 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

- ・郷土の自然環境・歴史・伝統・産物等を教材として取り上げ、各教科等を相互に有機的に結び付けながら、計画的な指導を行う。
- ・児童生徒が地域体験活動の経験を積み重ねることにより、我が国と諸外国の文化や風土等の特質に気付き、様々な場面でそのよさを発信できるよう、指導を工夫する。

## 2 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成

- ・AOMORI ENGLISH PACKAGEを活用し、CAN-DOリストの形で学習到達目標を児童生徒と共有し、単元指導計画を作成することによって、その達成状況を把握する。
- ★身に付けた知識及び技能を実際のコミュニケーションにおいて活用する機会を1単位時間や複数の単元において設定し、互いの考えや気持ちなどを外国語で伝え合う必然性や意味のある言語活動に繰り返し取り組ませる。
- ・言語モデルの提示、児童生徒との会話、母国の言語や文化についての情報提供など、外国語指導助手等を効果的に活用する。
- ・外国語教育における校種間の共通点や相違点を理解し、それぞれの校種においてどのような授業が行われ、どのような言語材料が扱われてきたのかを把握した上で、系統性のある指導を行う。

## 3 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

- ・地域に暮らす外国人や外国生活の経験者等、身近な人材を活用し、地域に根ざした交流活動を積極的に推進する。
- ・オンライン等を活用し、諸外国の姉妹・友好提携校等との交流を積極的に推進する。